事業番号	30

平成27年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	小牧市民まつり開催委託事業							担当部	地域活性化営業部	
	会計区分	一般会計		事業類型	実施計画事業				担当課	シティプロモーション課	
	事業期間	平成12年度以前 ～ 平成31年度以降							担当係	にぎわい創出係	
	総合計画分野別計画 主目的	5 産業・交流 18 シティプロモーション 3 魅力あるイベント・まつりを開催します									
	総合計画分野別計画 副目的									実施計画対象	○
	予算区分	款	7	項	1	目	4	大	3	中	1
	根拠法令・個別計画										
	目的（対象をどの様な状態にするのか）	市民の憩いの催事として、市民・行政・企業が一体となった運営・企画を行い、より多くの市民に親しんでもらえるまつりとする。									
	内容（手段）	◆26年度実施内容 ・市民参加型の交流を目指し、参加する方も見る方も楽しく、また来たくなるようなまつりの実施委託。26年度は両日とも晴天の中、計画をしていた事業についてはすべて実施することができた。 また、前年度雨天により中止となった、信長行列も実施することができ、パレードを盛り上げることができた。 会場：小牧山、市民会館・市公民館、まなび創造館、ﾒﾛﾃﾞｨｰﾊﾟｰｸ、駅西広場、ﾊﾟﾚｰﾄﾞ 経費：市からの委託金、市内外の各事業所からの協賛金 ◆26年度直接経費の内訳　・市民まつり開催委託料　35,000千円 全体の決算48,768千円（内　委託金(直接経費) 35,000千円、協賛金等13,768千円） 【現在の会場】 「小牧山会場」：毎年異なるテーマを掲げ、慣習に捉われない斬新かつ柔軟な会場。 ※第34回「いざ！小牧山城」、第35回「未来発見！小牧山城～きっちゃんの夢・チャレンジ～」 「市民会館会場」：学校の文化祭的なイメージの会場。 ※八雲コーナー、こまきフレンドパーク（子どもが遊べる場）、バレエ、琴、民謡等 「駅前会場」：ダンスを中心とした新しい小牧を発見できるような会場。 ◆27年度直接経費の内訳　・市民まつり開催委託料　44,000千円									
	受益者負担	無									

				単位	H24決算額	H25決算額	H26決算額	H27予算額
コスト	費用	直接経費		千円	35,000	36,000	35,000	44,000
		正職員	従事者数	人	1.00	1.00	1.00	1.50
			人件費	千円	5,260	5,260	5,260	7,890
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計		千円	40,260	41,260	40,260	51,890
		対前年比		%		102.4	97.5	128.8
	財源	一般財源		千円	40,260	41,260	40,260	51,890
		国・県支出金		千円	0	0	0	0
		その他財源		千円	0	0	0	0

事業番号	30

業績	活動指標名	単位		H24	H25	H26	H27
	総行事数	行事	目標	150	170	170	170
			実績	168	161	166	
	開催会場数	箇所	目標	6	6	6	6
			実績	6	5	6	
			目標				
			実績				
	成果指標名	単位		H24	H25	H26	H27
	来場者数	人	目標	185,000	200,000	185,000	200,000
			実績	200,000	100,000	185,000	
			目標				
			実績				

事業の自己評価			
平成26年度の実施結果	事業の達成状況	26年度は、両日とも晴天に恵まれ予定していた行事についてはすべて実施することができ、行事数・開催会場数・来場者数ともに目標をおおむね達成することができた。	
	事業実施における課題	市民まつりも回を重ねるごとに規模が大きくなり、その結果会場が、市民会館、駅前、小牧山、パレードと分散化、また、参加者の固定化が起きている。今後はよりよいまつりとするために、会場の配置、参加団体のあり方などを検討する必要がある。	
	事業を縮小・廃止したときの影響	市民まつりは、目的として、市民相互の融和を深め、文化をはぐくみ、市民でつくるまちづくりを推進するため、「ふれあいの輪をひろげよう」のテーマのもとに市民総参加のまつりとして実施している。市民まつりは、単にまつりを開催するという側面だけでなく、地域、団体がともに準備し、作り上げることで、地域・団体同士の絆も深まり、まちづくりにもつながっていることから、廃止・休止はかなり影響が大きいと考える。	
平成27年度の改善内容	27年度における事業の改善・見直し内容（新規追加事項、廃止・削減事項等）	27年度は、市制60周年記念事業として、ディズニーパレードを実施する。これまで、市民まつりにあまり足を運んだことのない方にも、ディズニーをきっかけとして、市民まつり全体を楽しんでいただき、今後の市民まつりをさらに盛り上げるものとする。 また、小牧山会場では、こまき信長まつりで実施した商工会議所主催の「楽市楽座」を市民まつりで実施し、小牧山の魅力を発信する会場として位置づける。	
平成28年度の事業の方向性	方向性の判定	維　持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの（対象や手段を見直す場合も含む）
	判定理由	市民まつりは、小牧市最大の市民総参加のイベントとし定着しており、まちづくりの観点からも必要な事業であるため。	
	28年度以降の改善案	26年度に実施した、こまきイベント検討委員会において、イベントのあり方等の報告をもらった。それを踏まえて実行委員会の中の企画運営部会において、現状の分析と今後のあり方について検討を行い、実行委員会に改善案を提案する。	

二次評価	方向性の判定	判　定　理　由
	維　持	一次評価のとおり。 平成27年度の実施内容の実績と効果の検証を行うとともに、イベント検討委員会での検討結果を踏まえて、必要に応じて事業の見直しを行うこと。